

平成21年(2009年)3月期 第3四半期累計期間決算発表



次世代マニピュレータ(双腕機)

I . 決算の概要

(単位:億円)

- 世界で建機需要が落ち込み、減収減益
- 特に08年10月～12月3ヶ月の諸数値は前年を大きく下回る
- 為替は想定を大幅に上回る円高が進行

		08年度 第3Q累計	07年度 第3Q累計	対前年 同期比
売上高		(1,461) 6,002	(2,142) 6,302	(68%) 95%
営業利益		(96) 567	(199) 709	(48%) 80%
経常利益		(93) 548	(188) 654	(50%) 84%
当期純利益		(32) 255	(136) 369	(24%) 69%
為替	売上計上レート(円/ドル)	(99.37) 103.56	(112.33) 116.39	/
	予約反映後レート(円/ドル)	(103.25) 104.29	(114.50) 117.16	
	売上計上レート(円/ユーロ)	(136.75) 158.45	(162.20) 161.26	
	予約反映後レート(円/ユーロ)	(162.72) 159.63	(160.62) 160.16	

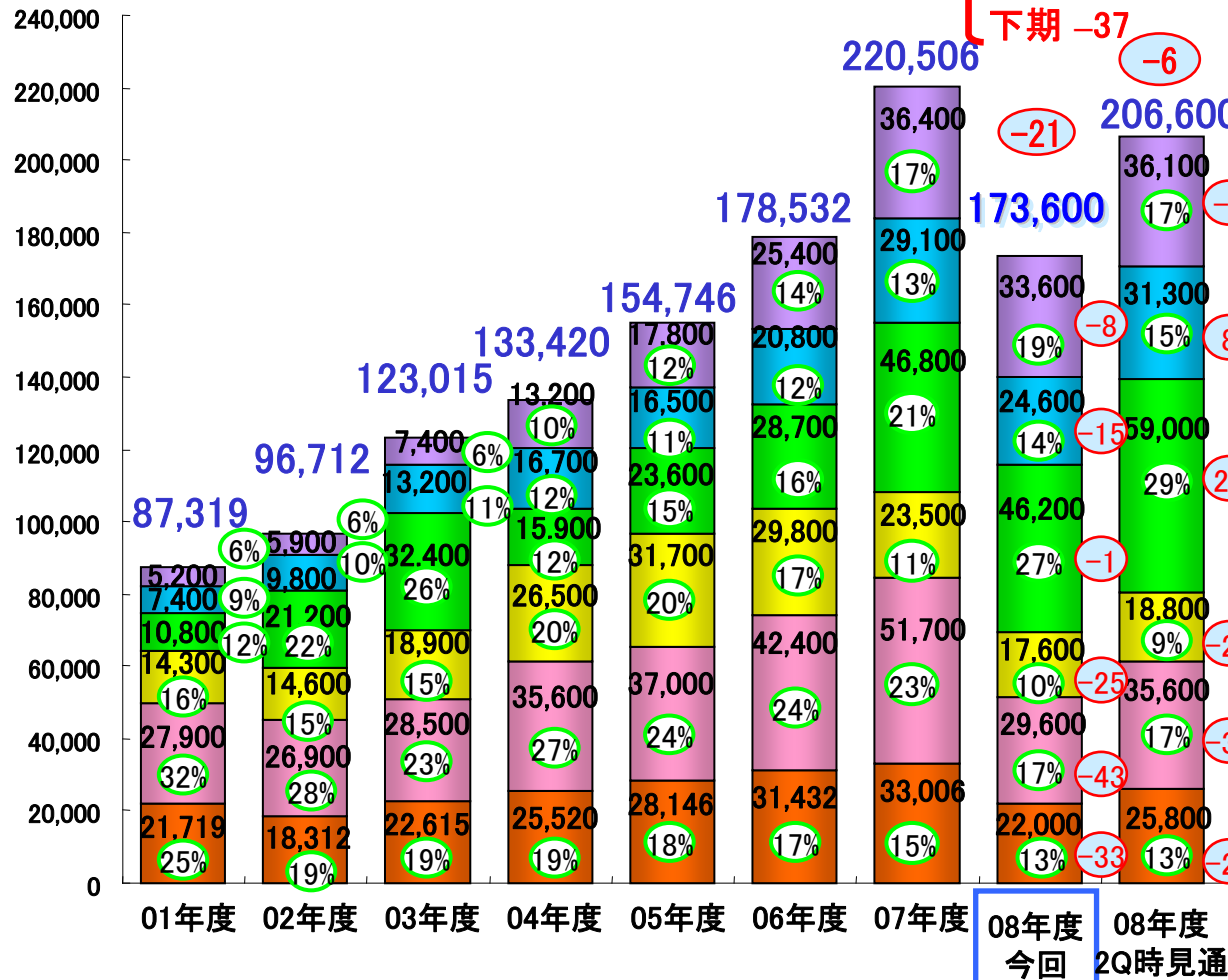
注. ()内は第3四半期3ヶ月累計額にて内数

油圧シヨベル世界需要推移

(複写・転用は御遠慮下さい)

(台/年) 3月締ベース

- 2008年11月頃より世界的に需要は急速に減少
- 下期、先進地域(日本、欧州、北米)はさらに悪化が進む。
- 新興地域も大幅減少、中国も前年比小幅ながらマイナスに
- 下期は'04-'05年度中間の水準



囲み数値は対07年度増減率で%表示

(当社調べ)

	上期	下期
その他	34	-43
豪亜	13	-41
中国	16	-15
北米	-28	-19
西欧	-30	-56
日本	-24	-43

	上期	下期	通年
豪亜			(%)
インド	10	-35	-16
インドネシア	57	-54	-5
その他			
ロシア・東欧・CIS	18	-69	-32
アフリカ	44	-13	14
中近東	31	-39	-2
中南米	51	-25	11

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•10-12月期3ヶ月
累計を表示

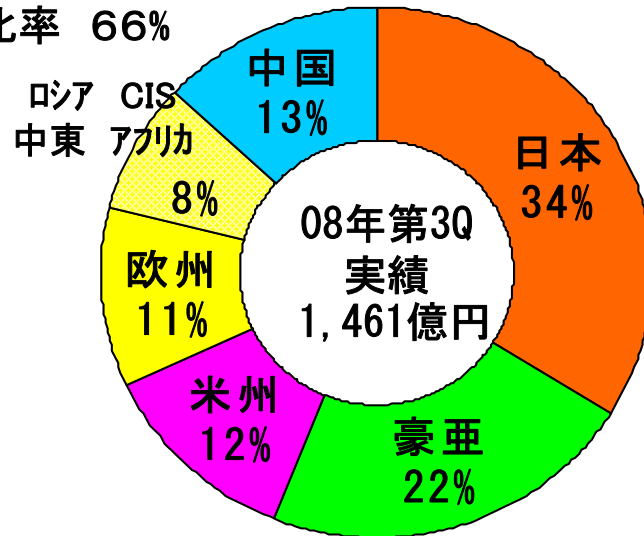
•売上高は前年
比68%、681億
のマイナス

	08年度 第3四半期	07年度 第3四半期	対前年同期比	
			金額	%
売上高	1,461	2,142	△681	68%
売上原価	1,009	1,553	△544	65%
販売費・管理費	356	390	△34	91%
割賦利益調整額	0	0	0	-
営業利益	96	199	△103	48%
営業外損益	△3	△12	9	25%
経常利益	93	188	△94	50%
特別損益	△28	0	△28	-
法人税等	41	27	14	149%
少数株主損益	7	△24	31	-
当期純利益	32	136	△104	24%

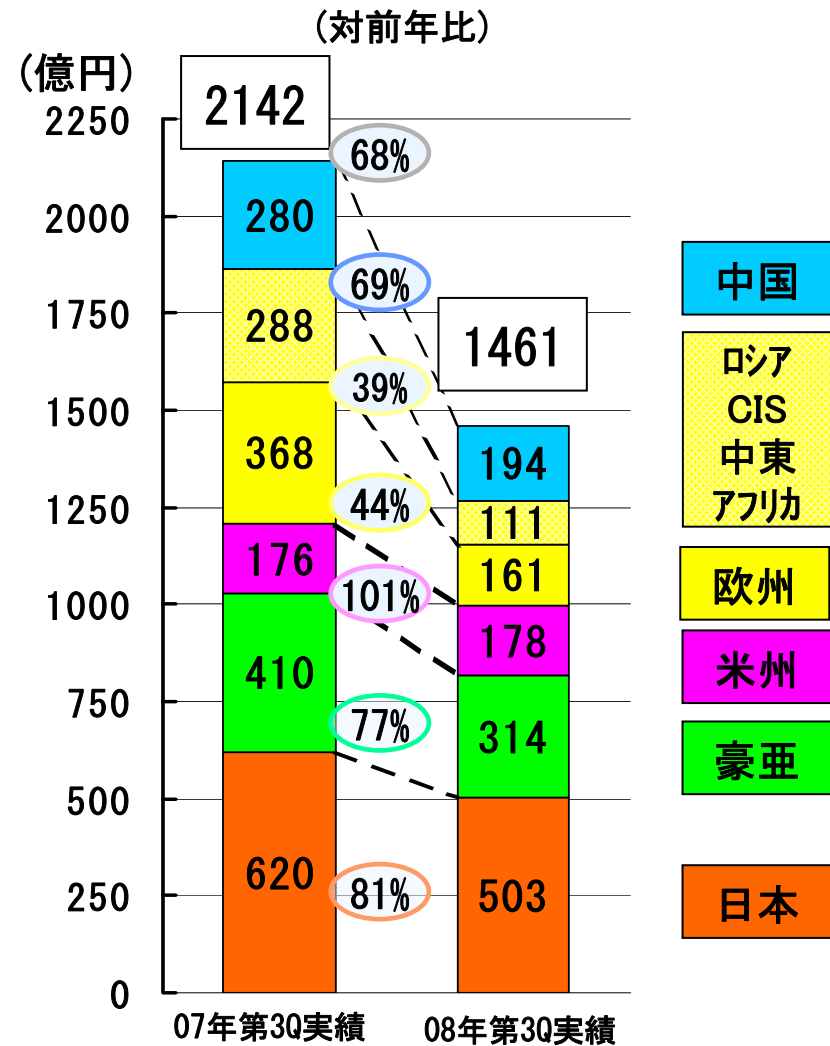
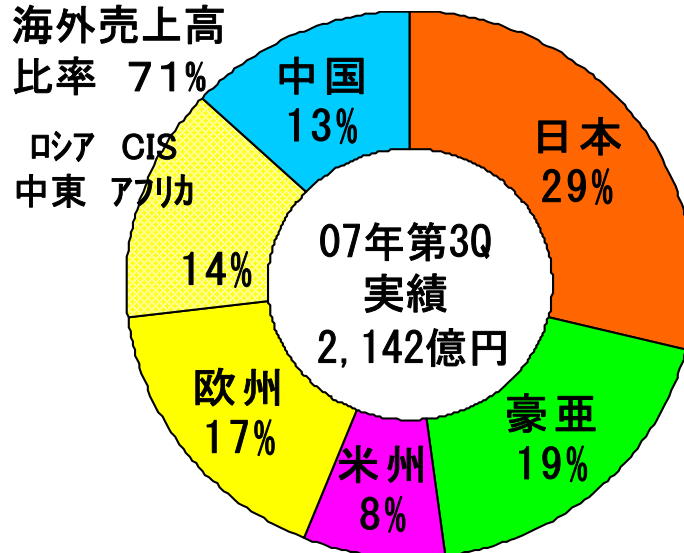
地域別売上比率・売上高(連結)

- 中国
10-12月期需要
△30%で減収
- ロシアCIS
現地の在庫調整
のため下期の出
荷ストップ
- 欧州
急激な需要減のため
在庫調整
- 米州
従来から在庫厳しく
運営。結果的に
若干のプラス
- 豪亜
インド、インドネシア等
においても需要減
↓
海外売上高比率
が前年比一時的
ではあるが減少

海外売上高
比率 66%



海外売上高
比率 71%



(注1) % は対前年伸び率

売上高増減の 主な内訳

・日立建機 $\Delta 214$
億円の内訳

国内 $\Delta 83$ 億
輸出 $\Delta 131$ 億
→従来と違い、輸出も減少に

・国内・製造 $\Delta 29$
億円の内訳

日立建機ティエラ
 $\Delta 43$ 億
日立住友重機械
建機クレーン+30億

・海外・製造 $\Delta 338$
億円の内訳

ヨーロッパ $\Delta 321$ 億
中国 $\Delta 24$ 億
→中国で計画比
若干の減産

・海外・販売サービス
 $\Delta 304$ 億円の内訳

中国 $\Delta 110$ 億
イギリス $\Delta 71$ 億
南ア $\Delta 38$ 億
オーストラリア $\Delta 31$ 億
→現地通貨での
円高の影響もあり

所在地別 売上高内訳(実績)

(単位:億円)

		会社数		売上高			
		08-3Q 実績	07-3Q 実績	08-3Q 実績(A)	07-3Q 実績(B)	増減 (A-B)	増減率 (A/B)
日立建機		—	—	916	1,130	$\Delta 214$	81%
国内	製造	6	7	269	298	$\Delta 29$	90%
	レンタル	1	8	94	104	$\Delta 10$	90%
	ソフト事業他	8	9	255	263	$\Delta 8$	97%
計		15	24	618	665	$\Delta 47$	93%
海外	製造	5	6	514	852	$\Delta 338$	60%
	販売・サービス	17	16	534	838	$\Delta 304$	64%
計		22	22	1,048	1,690	$\Delta 642$	62%
TCMグループ 注1		25	24	293	370	$\Delta 77$	79%
合計		62	70	2,875	3,855	$\Delta 980$	75%
連結調整				$\Delta 1,414$	$\Delta 1,713$	299	83%
連結売上高				1,461	2,142	$\Delta 681$	68%

注1) TCMグループ連結数値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•在庫調整および為替の急激な変動により未実現利益が3Qでプラスに効き(92億円)、売上原価率が低下

	08年度 第3四半期		07年度 第3四半期		対前年同期比	
					金額	%
売上高	1,461		2,142		△681	68%
売上原価	(69.1%) 1,009		(72.5%) 1,553		△544	65%
販売費・管理費	(24.4%) 356		(18.2%) 390		△34	91%
割賦利益調整額	0		0		0	—
営業利益	(6.6%) 96		(9.3%) 199		△103	48%
営業外損益	△3		△12		9	25%
経常利益	93		188		△94	50%
特別損益	△28		0		△28	—
法人税等	41		27		14	149%
少数株主損益	7		△24		31	—
当期純利益	32		136		△104	24%

所在地別 売上高・営業損益内訳(実績)

(単位:億円)

営業損益増減の
主な内訳

・海外・製造△53
億円の内訳
ヨーロッパ △38億
中国 △9億

・海外・販売サービス
△12億円の内訳
中国 △5億
イギリス △7億

・連結調整80億円
の内訳
棚卸資産未実現
利益 +92億

		売上高			営業損益		
		08-3Q 実績(A)	07-3Q 実績(B)	増減 (A-B)	08-3Q 実績(C)	07-3Q 実績(D)	増減 (C-D)
日立建機		916	1,130	△214	△41	43	△84
国内	製造	269	298	△29	7	10	△3
	レンタル	94	104	△10	1	1	0
	ソフト事業他	255	263	△8	2	9	△7
計		618	665	△47	10	20	△10
海外	製造	514	852	△338	18	71	△53
	販売・サービス	534	838	△304	52	64	△12
計		1,048	1,690	△642	70	135	△65
TCMグループ 注1		293	370	△77	△3	21	△24
合計		2,875	3,855	△980	36	219	△183
連結調整		△1,414	△1,713	299	60	△20	80
連結売上高・営業利益		1,461	2,142	△681	96	199	△103

注1) TCMグループ連結数値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•売上△30%が損益分岐点だが、経費削減努力・未実現利益の影響あり、経常黒字維持

•株安に伴う有価証券の評価減により特損発生

•TCMが繰延税金資産を取り崩し、法人税等の負担増

	08年度 第3四半期	07年度 第3四半期	対前年同期比	
			金額	%
売上高	1,461	2,142	△681	68%
売上原価	1,009	1,553	△544	65%
販売費・管理費	356	390	△34	91%
割賦利益調整額	0	0	0	—
営業利益	96	199	△103	48%
営業外損益	△3	△12	9	25%
経常利益	93	188	△94	50%
特別損益	△28	0	△28	—
法人税等	41	27	14	149%
少数株主損益	7	△24	31	—
当期純利益	32	136	△104	24%

連結営業外損益比較(実績)

(単位:億円)

営業外損益増減
の主な内訳

•金融収支

日立建機上海の
売上減により、
受取利息△5億、
借入金残高増加
による支払利息
△4億

•持分法投資損益

インド会社の事業
悪化 △15億

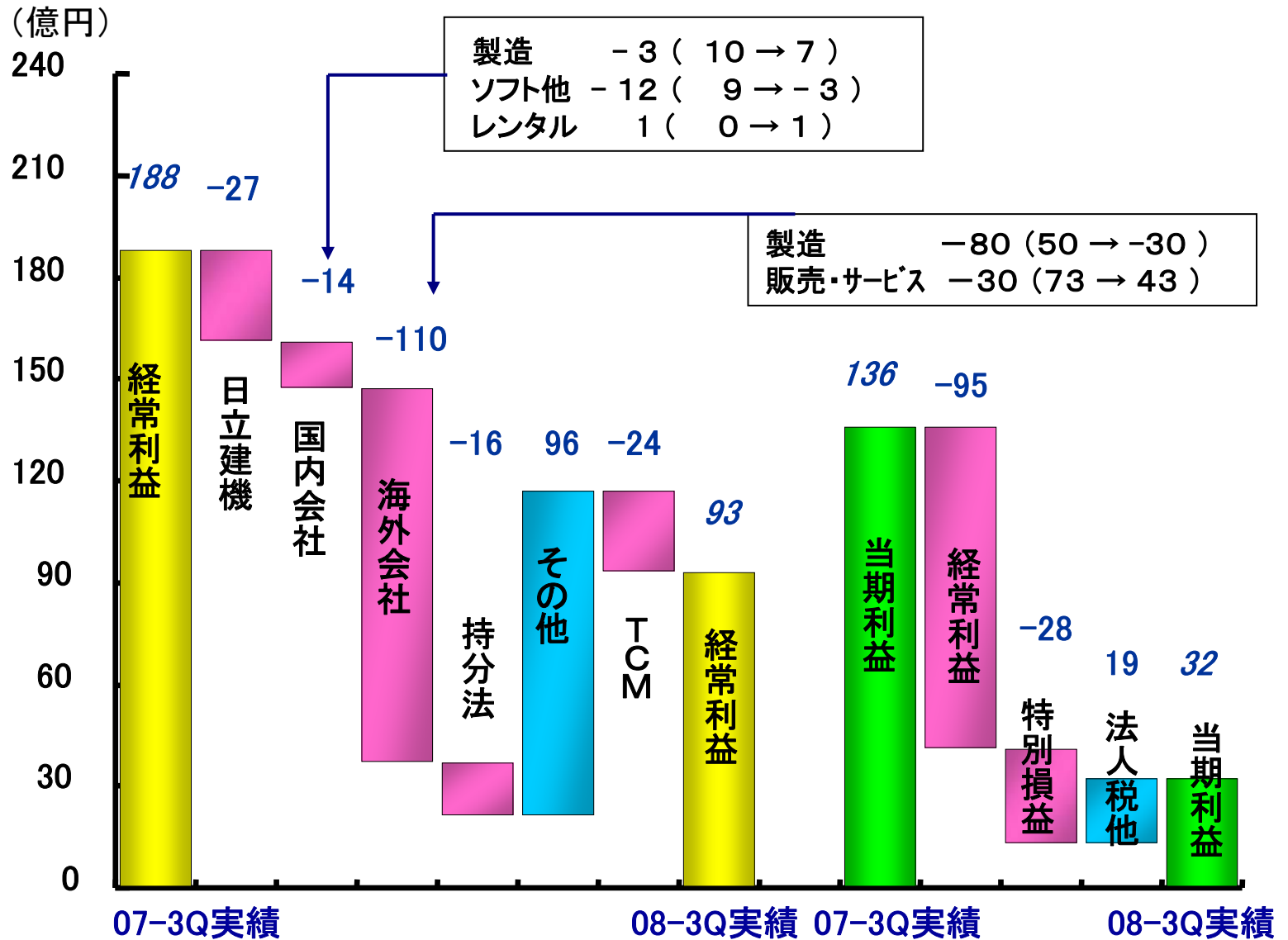
•為替差損益

単独ではドル・ユーロ
の予約が効いて
+53億
他通貨でマイナス

	08年度 第3四半期	07年度 第3四半期	増減
金融収支	△13	△4	△9
たな卸資産処分損・評価損	△1	△3	2
持分法による投資損益	△9	7	△16
為替差損益	14	△10	24
その他	6	△2	8
計	△3	△12	9

連結損益変動要因(実績)

- 従来なかった海外会社の損益悪化が目立つ
- ‘その他’96億円は主に未実現利益

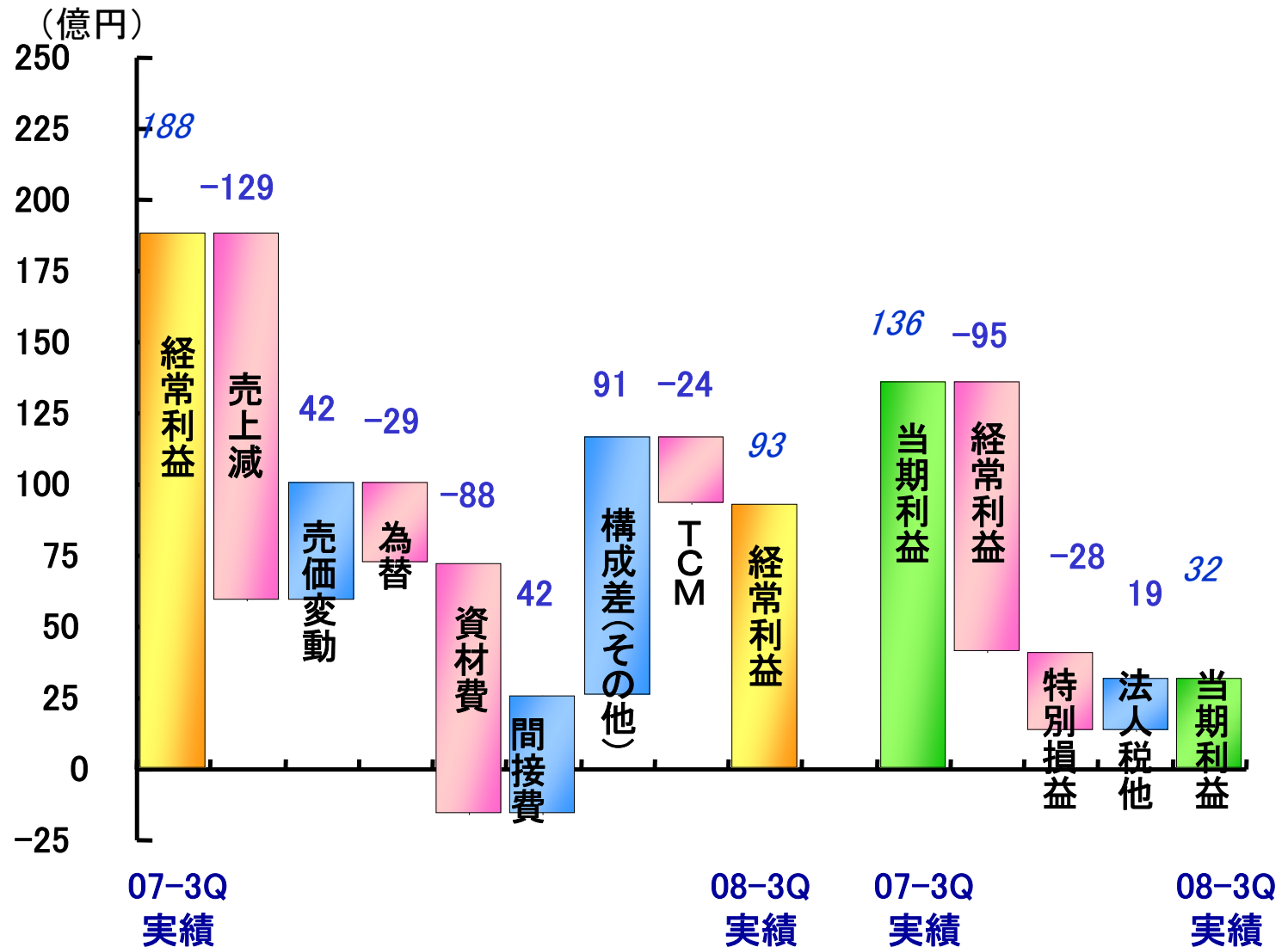


連結損益変動要因(実績)

•当3Qは需要減に伴う売上減・円高により業績悪化、固定費削減努力等だけではカバーできず

•資材費には中国子会社の親会社からの部品輸入に関する為替円高の影響も含む

•売価アップと資材購入のタイミング差、現地通貨安の影響を除けば、実質的には資材費の上昇を売価に転嫁できている



要約連結損益計算書

(単位:億円)

•第3四半期累計
(9ヶ月間)では売
上高営業利益率
9.5%

売上高経常利益
率9.1%

当期純利益は前
年比69%

	08年度 第3Q累計		07年度 第3Q累計		対前年同期比	
					金額	%
売上高		6,002		6,302	△300	95%
売上原価	(71.6%)	4,295	(71.0%)	4,473	△178	96%
販売費・管理費	(19.0%)	1,140	(17.8%)	1,121	19	102%
割賦利益調整額		0		△1	1	—
営業利益	(9.5%)	567	(11.3%)	709	△142	80%
営業外損益		△20		△55	35	36%
経常利益	(9.1%)	548	(10.4%)	654	△106	84%
特別損益		△35		0	△35	—
法人税等	[37.1%]	204	[32.6%]	213	△9	95%
少数株主損益		△55		△72	17	76%
当期純利益	(4.2%)	255	(5.9%)	369	△114	69%

要約連結貸借対照表

(単位:億円)

•増産対応を目的とした固定資産増210億は計画通り

•流動資産207億増はたな卸資産、受手・売掛金の影響

•たな卸資産の手持日数117日は過大。80日が目標

•‘純資産の部・その他’において、急速な円高により、為替換算調整勘定△226億計上

•これにより、剰余金増にも関わらず、自己資本比率が低下

	(A) 08-3Q	(B) 07年度	(C) 07-3Q	(A-B) 増減
現金及び預金	455	533	516	△78
受手・売掛金	1,769	2,389	1,805	△620
たな卸資産	2,917	2,070	2,430	847
その他	646	588	686	58
流動資産計	5,787	5,580	5,437	207
有形固定資産	2,238	2,046	1,964	192
(賃貸営業資産)	(425)	(359)	(385)	(66)
無形固定資産	228	193	191	35
投資その他	495	512	546	△17
固定資産計	2,961	2,751	2,701	210
資産合計	8,748	8,331	8,138	417

手持日数(分母は、売上高)	(単位:日)			
受手・売掛金	71	93	78	△22
たな卸資産	117	80	105	37

注1) (賃貸営業資産)は有形固定資産の内数。

注2) (預け金)は現預金等の内数で親会社預け金。

	(D) 08-3Q	(E) 07年度	(F) 07-3Q	(D-E) 増減
支手・買掛金	1,770	1,665	1,748	105
その他	2,388	2,356	2,160	32
流動負債計	4,158	4,021	3,908	137
固定負債計	1,152	844	837	308
負債合計	5,310	4,865	4,745	445
少数株主持分	371	368	383	3
資本金・剰余金	3,296	3,136	2,946	160
その他	△229	△38	64	△191
(自己資本比率)	(35.0%)	(37.1%)	(37.0%)	(△2.2%)
純資産合計	3,438	3,466	3,393	△28
負債・純資産合計	8,748	8,331	8,138	417

	(28.0%)	(22.9%)	(22.6%)	(5.1%)
有利子負債計	2,452	1,907	1,843	545
現金及び預金 (預け金)	455	687	806	△232
	(0)	(155)	(290)	(△155)
ネット有利子 負債	(22.8%) 1,997	(14.6%) 1,219	(12.7%) 1,037	(8.2%) 778

ネット D/Eレシオ	0.65	0.39	0.34	0.26
---------------	------	------	------	------

連結キャッシュフロー

14

(単位:億円)

•急激な需要減少に対応すべく減産しているが追いつかず、たな卸資産増により営業CFはマイナス

•足元では高水準の投資の残り分が計上されているが、今後基本的には増産投資は取りやめ、07年度→08年度→09年度と投資CF減少していく

•今後はたな卸資産を縮減し、CF改善する

区 分	08年度 3Q累計実績	07年度 3Q累計実績	増減
税金等調整前当期純損益	513	654	△141
減価償却費	248	218	30
受取手形及び売掛金の増減額	392	109	283
たな卸資産の増減額	△1,226	△610	△616
支払手形及び買掛金の増減額	400	50	350
法人税等の支払額	△315	△236	△79
その他	△229	△161	△68
営業活動	△217	24	△241
有形固定資産の取得による支出	△412	△396	△16
有形固定資産の売却による収入	6	15	△9
投資有価証券の取得による支出	△42	△16	△26
投資有価証券の売却による収入	0	1	△1
その他	△23	△37	14
投資活動	△471	△433	△38
フリーキャッシュフロー	△688	△409	△279
短期借入金の増減額	551	264	287
長期借入金の増減額	296	0	296
社債の償還による支出	△130	△103	△27
株式の発行による収入	0	775	△775
その他	△215	△135	△80
財務活動	502	801	△299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	3	△49
現金及び現金同等物の増減額	△232	395	△627
現金及び現金同等物期首残高	687	411	276
現金及び現金同等物期末残高	455	806	△351

Ⅱ. 業績予想

(単位:億円)

•本業績予想の4Q
為替レートは1米ドル
90円、1ユーロ120
円を前提

•4Qは、営業利益
△67億円と現段
階では赤字を見
込んでいるが、黒
字達成にチャレンジ
したい

	08年度 予想	07年度 従来ベース	07年度 決算 (一部15ヶ月決算)	対前年 同期比 (従来ベース比)	対前年 同期比
売上高	(9,400) 7,810	9,036	9,405	86%	83%
営業利益	(940) 500	1,052	1,085	48%	46%
経常利益	(900) 460	976	1,006	47%	46%
当期純利益	(480) 200	545	560	37%	36%
為替	売上計上レート(円/ドル)	100.86	113.75		
	予約反映後レート(円/ドル)	102.80	114.94		
	売上計上レート(円/ユーロ)	155.39	160.92		
	予約反映後レート(円/ユーロ)	159.30	160.58		
1株当たり配当金	44円		42円		2円

注. ()内は08年10月対外発表値

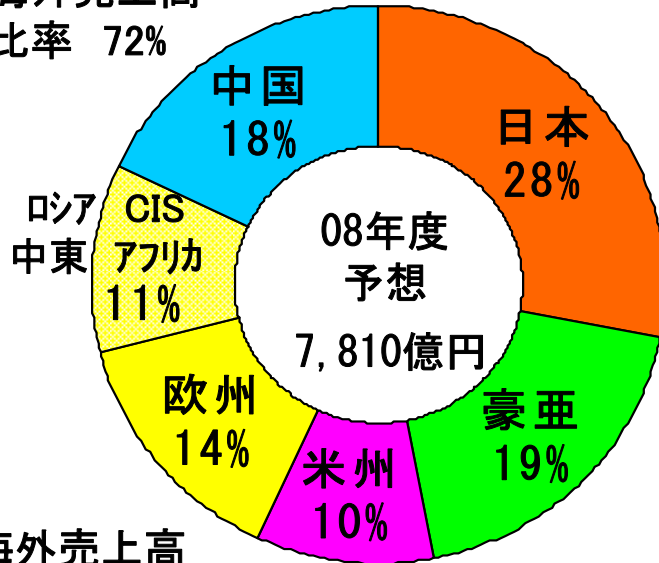
08年下期の為替レート

想定売上計上レート(円/ドル)	94.75
予約反映後レート(円/ドル)	99.77
想定売上計上レート(円/ユーロ)	131.59
予約反映後レート(円/ユーロ)	160.27

地域別売上比率・売上高(連結)

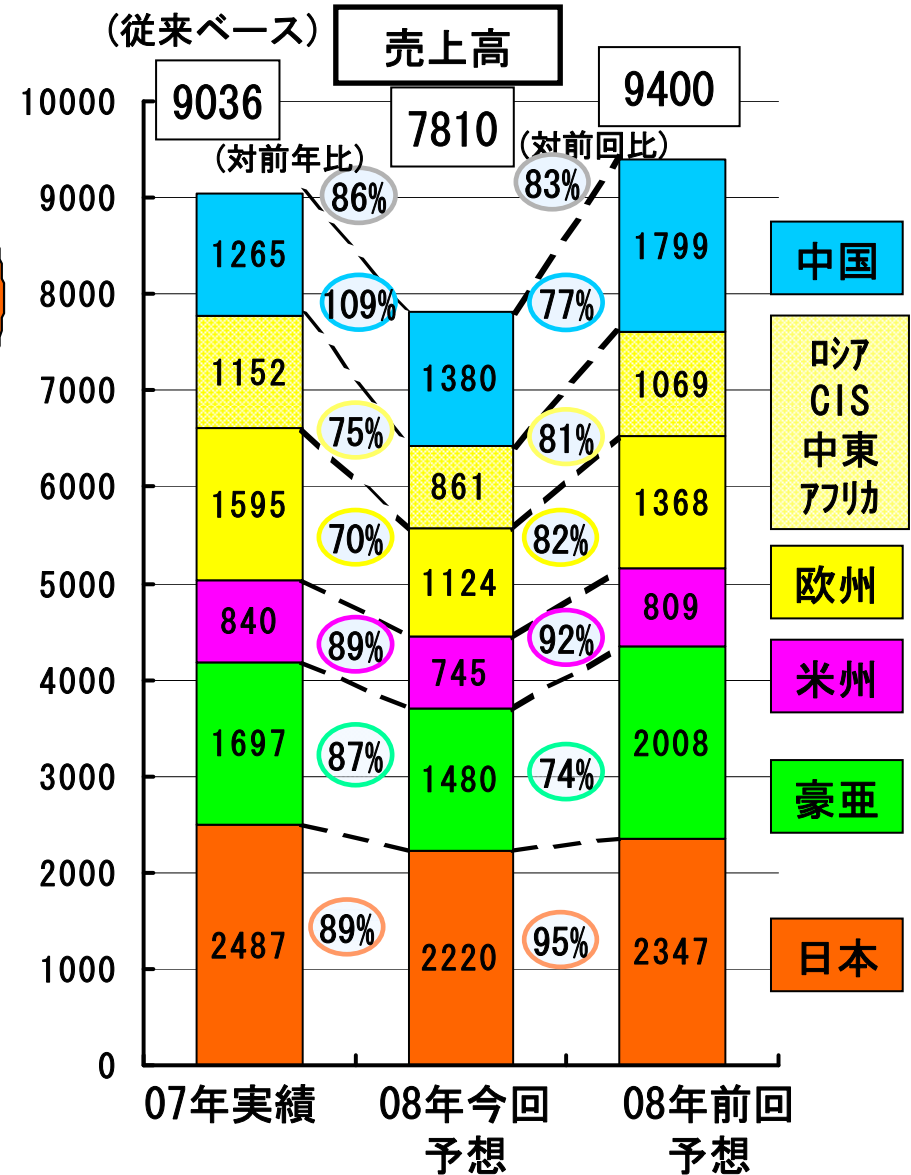
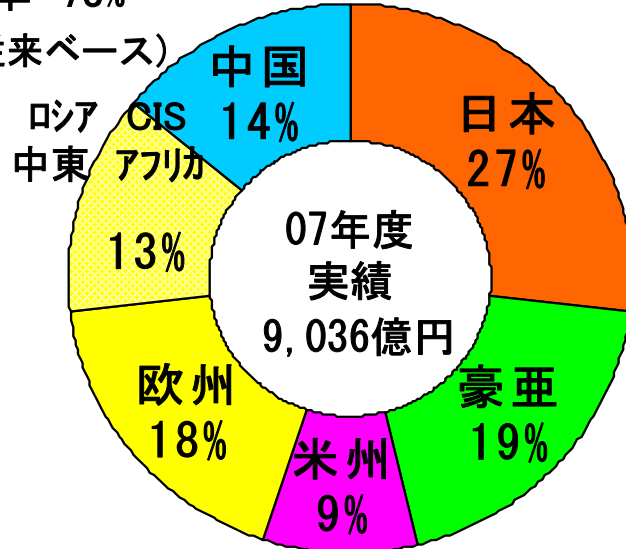
•海外売上比率は前年並みに戻るが、構成としては欧州・ロシアCIS中東アフリカのウェイトが大幅減少、中国は上昇

海外売上高
比率 72%



海外売上高
比率 73%

(従来ベース)



所在地別 売上高・営業損益内訳(予想)

(単位:億円)

営業損益増減の
主な内訳(通年)

・海外・製造△117
億円の内訳

ヨーロッパ △106億

・連結調整110億
円の内訳

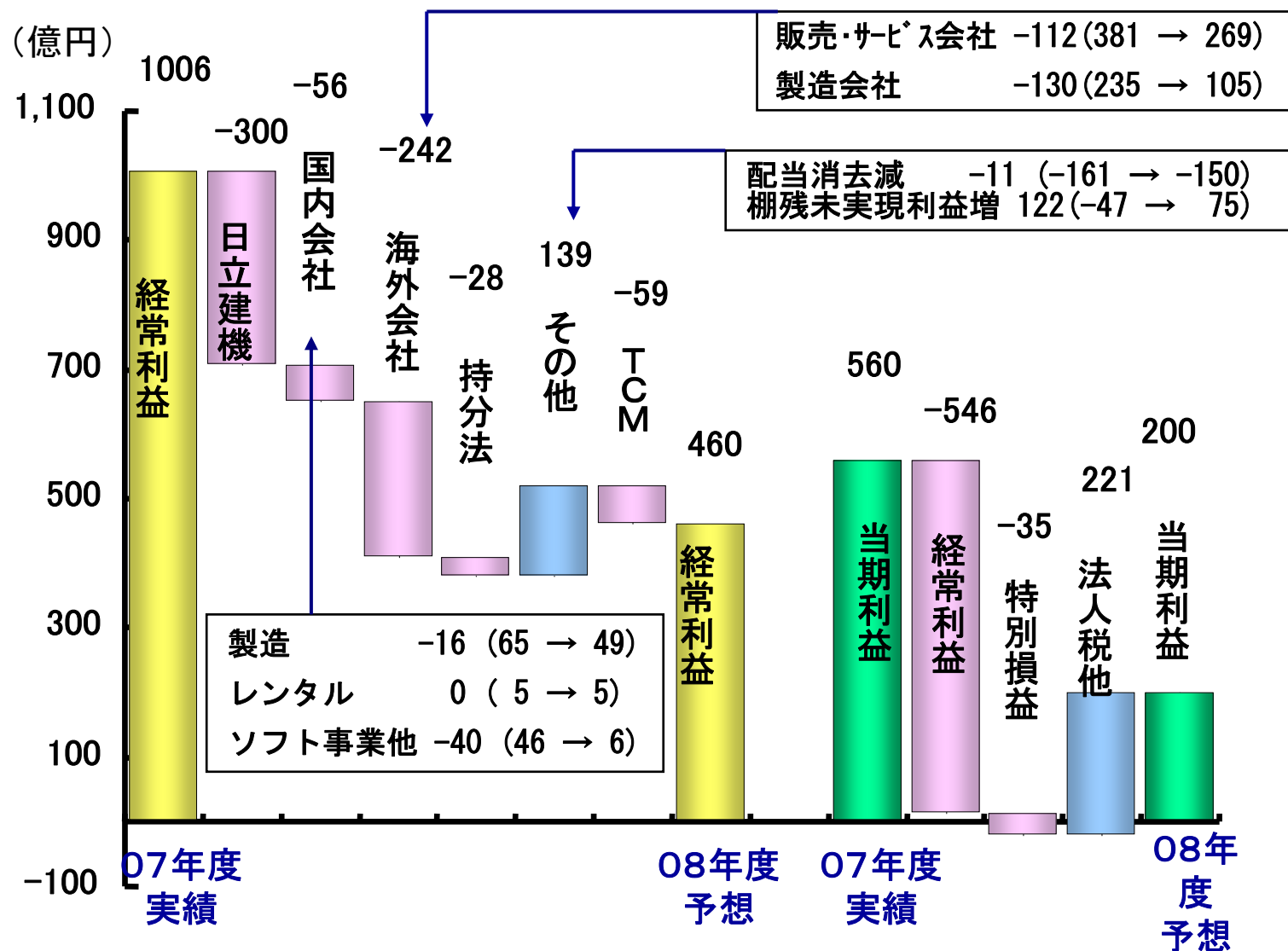
棚卸資産未実現
利益 +122億

		売上高			営業損益		
		08年度 予想(A)	07年度 実績(B)	増減 (A-B)	08年度 予想(C)	07年度 実績(D)	増減 (C-D)
日立建機		4,115	4,799	△684	△44	340	△384
国内	製造	1,184	1,215	△31	50	68	△18
	レンタル	379	406	△27	5	5	0
	ソフト事業他	1,154	1,132	22	15	48	△33
計		2,717	2,753	△36	70	121	△51
海外	製造	3,050	3,787	△737	183	300	△117
	販売・サービス	3,244	4,041	△797	273	362	△89
計		6,294	7,828	△1,534	456	662	△206
TCMグループ 注1		1,200	1,350	△150	△11	43	△54
合計		14,326	16,730	△2,404	471	1,166	△695
連結調整		△6,516	△7,325	809	29	△81	110
連結売上高・営業利益		7,810	9,405	△1,595	500	1,085	△585

注1) TCMグループ連結数値

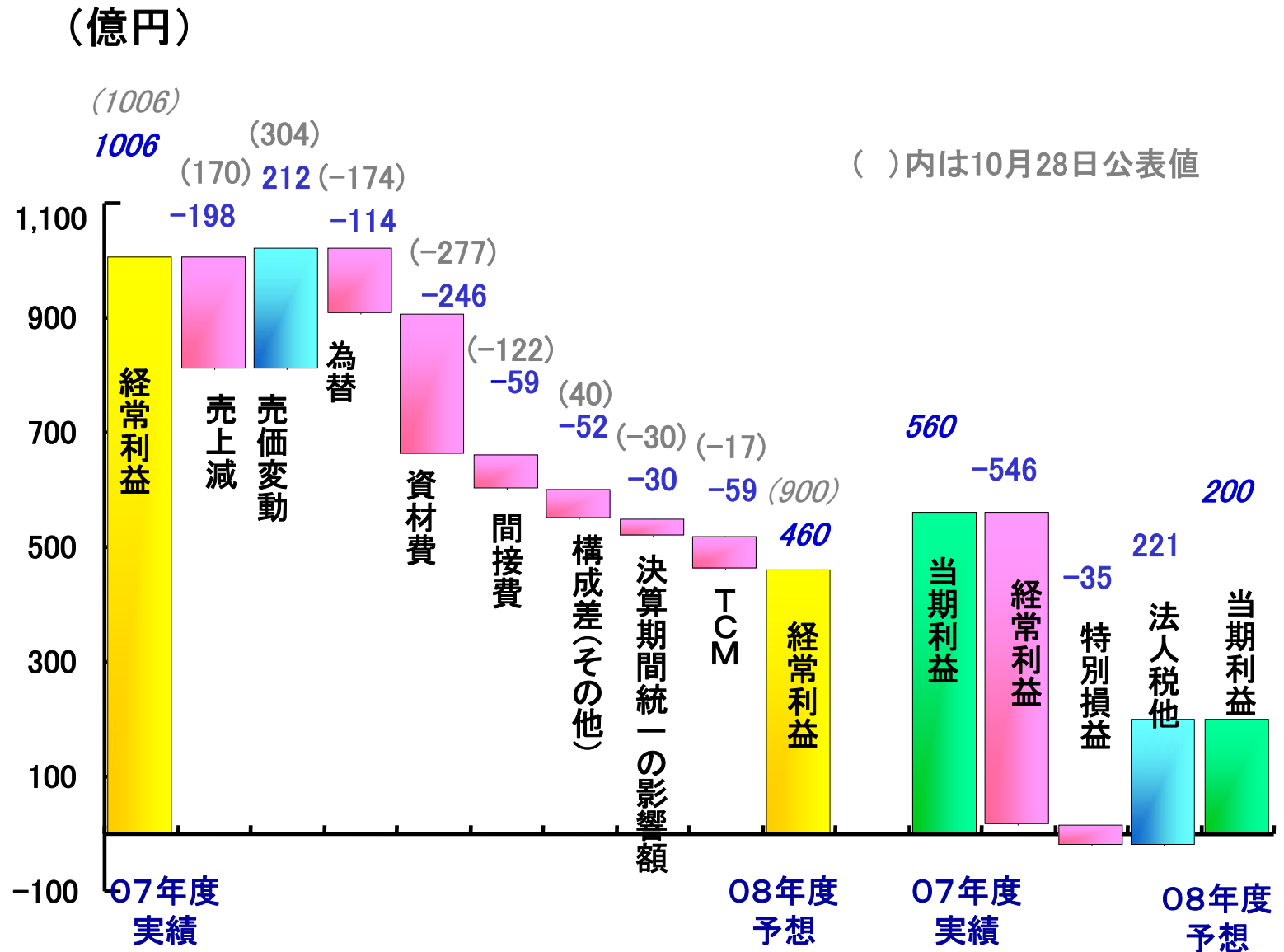
連結損益変動要因(予想)

•損益のプラス要因は、棚卸資産未実現利益しかない、という厳しい状況



連結損益変動要因(予想)

- 売上減・為替の影響大
- 売価アップと資材購入のタイミング差、現地通貨安の影響を除けば、実質的には資材費の上昇を売価に転嫁できている
- 間接費は償却費・研究費等により対前年59億増加するが、2Q発表時点より63億節減(人件費等)



1.配当について

平成19年8月に実施させて頂きました、公募及び第三者割当て増資に応じていただいたことに配慮し、従来予想の年間44円は変更しておりません。

2.自己株式の取得について

(取得の理由)

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

(取得の内容)

- ①取得する株式の総数＝900万株を上限とする。
- ②取得金額＝80億円を上限とする。
- ③取得期間＝平成21年1月29日から同年3月25日まで。

完